

## 支部便り

# 「令和元年度 関西支部若手研究者・院生による研究発表会」開催報告

## Report on the 2019 young researchers' meeting by Kansai branch

森重 大樹

Taiki MORISHIGE

令和元年12月23日(月)に関西大学吹田キャンパス100周年記念会館にて、軽金属学会関西支部主催による令和元年度若手研究者・院生による研究発表会を行った。本発表会は例年冬ごろに大学院生、学部学生ならびに企業の若手研究者を主体とした研究発表を行い、関西地区の軽金属関連研究・開発の発展を目指すことを目的に開催している。今回も108名が参加し、大変盛況な研究発表会となった。

午前の部では、以下の7件の口頭発表があり活発な議論、意見交換が行われた。

### 1. 「放射光を用いた純マグネシウムにおける引張変形中の活動すべり系の調査」

兵庫県立大学 ○平田雅裕, 足立大樹, 岡井大祐

### 2. 「クラッド板の冷間圧延で発生する内層の周期的なうねり現象」

大阪大学 ○前田宗一郎, 松本 良, 宇都宮裕

### 3. 「アルミニウム複合線材中のナノ組織分布のトモグラフィによる解析法の検討」

京都大学 ○林 杉, 井上陽向, 奥田浩司, 松本克史

### 4. 「低コストTi-Mn-V-Al合金の相構成と熱処理挙動」

関西大学 ○崔 雨仙, 上田正人, 池田勝彦

### 5. 「マグネシウムの衝撃引張変形応答に及ぼす溶質原子の添加効果」

神戸大学 ○五枝龍太郎, 池尾直子, 中辻竜也, 山口正剛, 向井敏司

### 6. 「難燃性Mg合金MIG溶接条件最適化のための実験と機械学習の併用による強度予測モデルの構築」

大阪府立大学 ○高畑太朗, 上杉徳照, 上田光二, 木ノ本裕, 瀧川順庸

### 7. 「Sn添加アルミニウム箔の特性とその応用」

東洋アルミニウム ○村松賢治, 秋山聡太郎

また、午後の部では、ポスターセッションにて49件の発表があり、非常に活発な意見交換が行われた。また、昭和電工(株)山ノ井智明氏による「アルミ電解コンデンサ用箔の技術変遷」と題した特別講演があった。アルミニウム電解コンデンサに用いられる高純度アルミニウムの精製から、歴史・市場の移り変わり、そして特性と解析手法など、あらゆる視点から開発のプロセスを振り返って述べられ、大変興味深いものであった。またこの先就職を予定している院生や若手研究者への心構えとして、「楽しんで仕事をしよう」とのメッセージを頂戴した。

最後に、学生によるフィールドワーク報告が行われ、関西大学、大阪大学、大阪工業大学の学生グループにより、関西

の軽金属関連企業を見学し、そこで学んだことや感想が口頭発表として報告された。本年度は見学先として昭和電工パッケージ(株)彦根工場、東洋アルミニウム(株)日野製造所、(株)神戸製鋼所神戸総合技術研究所にご協力頂いた。

研究発表会終了後には懇親会が開催され、他大学の学生間での親睦、交流を深めた。また、懇親会中に表彰式が行われ、口頭発表者のうち2名に研究発表最優秀賞が、ポスターセッション発表のうち10名にベストポスター賞が、フィールドワーク報告についても1件の発表に対して最優秀フィールドワーク賞がそれぞれ授与され、受賞者には荒木支部長より賞状が贈られた。最後に、支部顧問である竹本 正先生による一本締めで閉会となった。

本会は例年、若手の研究者、学生が気軽に研究発表できる機会を設けることを目的として開催されており、例年多くの参加者による活発な意見交換がなされている。また、フィールドワーク報告についても学生が積極的に参加を希望しており、軽金属関連の研究に関わる学生の意欲は非常に高いものと感じており、次年度以降も積極的な参加が期待される。

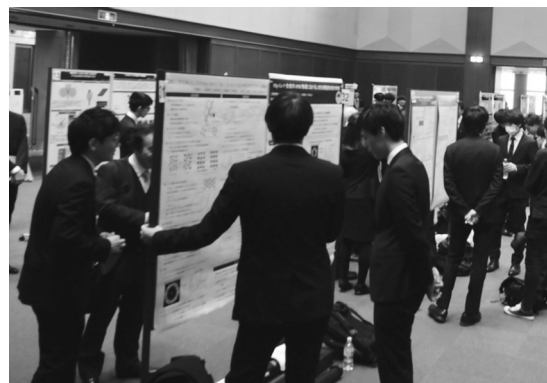


図1 ポスターセッションの様子



図2 山ノ井氏による特別講演